

「病は死では終わらない」

詩編 23 編 1-4a 節、ヨハネによる福音書 11 章 1-5 節

2022.10.30

●アウトライン

1. 病床の暗闇の中で
 - ・ イエス・キリストと病を抱えていたラザロ
 - ・ 病を抱えている人の苦悩の言葉（詩編 31 編 10-13 節）
 - ・ 私たちを死の暗闇の中に落とす病
2. 病は死では終わらない
 - ・ キリストの言葉「この病気は死で終わるものではない」
 - ・ 神の栄光が現れるとはどういう意味か。
 - ・ 河野進牧師の詩「病まなければ」
 - ・ 死の闇を越えて、永遠の命の栄光へ導くイエス・キリスト
3. 病と闘う私たちと共に歩まれる神
 - ・ 死の陰の谷を行くときも…

●聖書箇所

【詩編 31 編 10-13 節、旧約聖書 861 ページ】

「主よ、憐れんでください／わたしは苦しんでいます。目も、魂も、はらわたも／苦悩のゆえに衰えていきます。命は嘆きのうちに／年月は呻きのうちに尽きていきます。罪のゆえに力はうせ／骨は衰えていきます。わたしの敵は皆、わたしを嘲り／隣人も、激しく嘲ります。親しい人々はわたしを見て恐れを抱き／外で会えば避けて通ります。人の心はわたしを死者のように葬り去り／壊れた器と見なします。」

【ヨハネによる福音書 11 章 25 節、新約聖書 189 ページ】

「イエスは言われた。『わたしは復活であり、命である。わたしを信じる者は、死んでも生きる。』」

【詩編 23 編 1-4a 節、旧約聖書 854 ページ】

「【賛歌。ダビデの詩。】主は羊飼ひ、わたしには何も欠けることがない。主はわたしを青草の原に休ませ／憩いの水のほとりに伴ひ、魂を生き返らせてくださる。主は御名にふさわしく／わたしを正しい道に導かれる。死の陰の谷を行くときも／わたしは災いを恐れない。あなたがわたしと共にいてくださる。」